

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 透湿防水シート止め作業
- 断熱材止め作業

コードレスタッカ

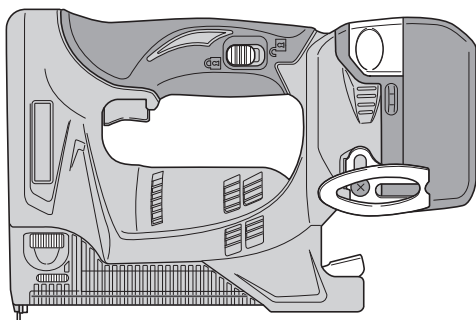
14.4 V N 14DSL

18 V N 18DSL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	11
別売部品	12

はじめに



N 14DSL

ご使用前の点検・準備	13
ステープルの取扱い方	14
ステープルの装てん方法	15
ステープルの打ち方（単発 / 連続）	15
空打ち防止機構について	16
充電する	17
ステープルを打つ	19
打ち込み深さの調整方法	20
フックの使い方	21

使い方

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

保守・点検	22
故障かな…というときは	24
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **正しく充電してください。**
 - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
 - 釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **感電に注意してください。**
 - ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
 - スイッチに指を掛けて連ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
 - 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具本体を使用してください。**
 - 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠️注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスタッカとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① **保護メガネを使用してください。**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。
ステーブルを連結している接着剤や打ち損じのステーブルが目にあたると、けがの原因になります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
 - プッシュレバーがスムーズに動くこと。
 - ロックレバーによりスイッチがロックできること。
異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
 - スイッチをロックする。
誤ってステーブルが発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**

この機体は、プッシュレバーとスイッチの両方を作動させないと、ステーブルが発射されない構造になっています。

ステーブルを装てんする前に、蓄電池を取付け、スイッチのロックを解除し、さらにマガジンを開いて次の点検をしてください。

 - スイッチを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、モーターが作動しないこと。
異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ **作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- ⑧ **使用中は、工具本体を確実に保持してください。**
- ⑨ **ステーブルを打ち込む材料の裏側に、手や身体を置かないでください。**
 - ステーブルが突き抜れたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。

警告

- ⑩ **可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。**
 - 可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
ステーブルを打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑪ **次の場合は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない場合や作業中断時、修理する場合、使用後。
 - 点検・修理・調整、ステーブルづまりの直しなどの場合。
 - ステーブルを装てんする場合。
 - タッカを移動する際や手渡しする場合。
誤ってステーブルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑫ **作業中はまわりの人に注意してください。**
 - ステーブルを連結している接着剤、打ち損じたステーブルが当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑬ **薄い板や木材の端にステーブルを打たないでください。**
 - 薄い板に打つとステーブルが突き抜けたり、木材の端に打つとステーブルがそれたりして、けがの原因になります。
- ⑭ **機体の反発に注意してください。**
 - 硬い所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。
- ⑮ **壁の両側から同時にステーブル打ち作業をしないでください。**
 - 打ったステーブルが突き抜けたり、壁ぎわのステーブルがそれたりして、けがの原因になります。
- ⑯ **屋外での作業は、次のことに注意してください。**
 - 屋根などの斜面でステーブルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
 - 床などの水平面でステーブルを打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
 - 壁などの垂直面にステーブルを打つときは、上から下へ作業してください。
- ⑰ **誤って落としたり、ぶつけたときは、必ず、蓄電池を取りはずして機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
 - 特にプッシュレバーがスムーズに動くことを確認してください。
- ⑱ **精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。**
 - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑲ **蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。**
- ⑳ **蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。**
- ㉑ **蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NK仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4V蓄電池(BSL14xxシリーズ)の場合：電池電圧約8Vまで低下すると停止
18V蓄電池(BSL18xxシリーズ)の場合：電池電圧約10Vまで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、コードレス工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。



○ 騒音防止規制について

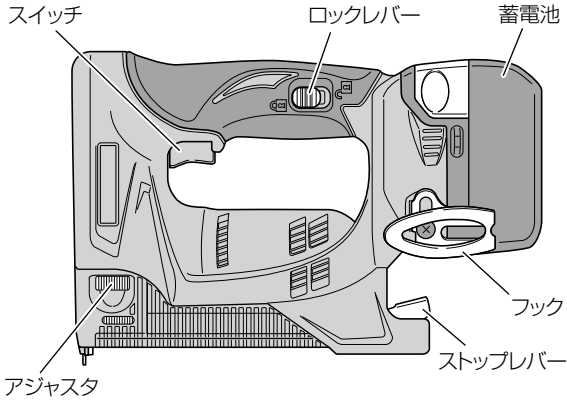
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。

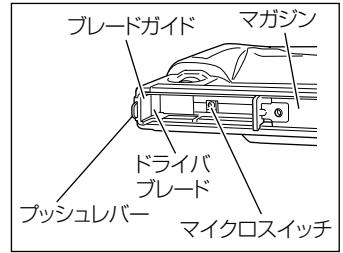
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

工具体体 【イラストは N 14DSL です】

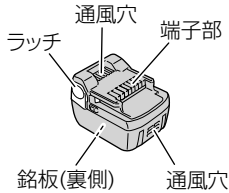


【裏からみた図】

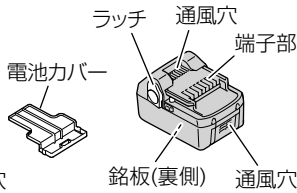


蓄電池

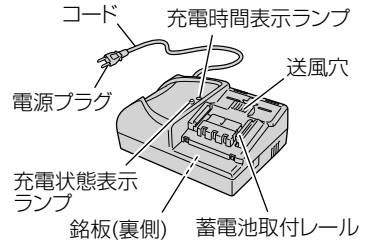
14.4V (BSL1430)
(BSL1440)
(BSL1450)



18V (BSL1830)
(BSL1840)
(BSL1850)



充電器



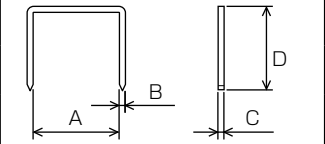
標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	N 14DSL			
		LSCK	LLCK	LJCK	NK
蓄電池		BSL1430 1個 (本体装着)	BSL1440 1個 (本体装着)	BSL1450 1個 (本体装着)	—
充電器	UC 18YSL2	1台	1台	1台	—
保護メガネ		1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	1個	1個	1個
電池カバー		1個	1個	1個	—

品名・形名	工具本体 仕様	N 18DSL			
		LSCK	LLCK	LJCK	NK
蓄電池		BSL1830 1個 (本体装着)	BSL1840 1個 (本体装着)	BSL1850 1個 (本体装着)	—
充電器	UC 18YSL2	1台	1台	1台	—
保護メガネ		1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	1個	1個	1個
電池カバー		1個	1個	1個	—

仕様

1. 工具体体

形名	N 14DSL	N 18DSL			
切断能力 (使用ステープル)	(寸法単位: mm)				
	形状	A	B	C	D
		11.75	0.5	0.7	6
					10
13					
釘の装てん数	150本(1連)				
モーター	直流モーター				
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池				
電池電圧	14.4V		18V		
工具体体寸法 全長×全高×センチメートル	235mm×155mm×82mm (蓄電池装着時)		235mm×166mm×82mm (蓄電池装着時)		
質量	1.7kg(蓄電池装着時)		1.8kg(蓄電池装着時)		

2. 充電器

形名	UC 18YSL2	
入力電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100V	
充電時間 [気温 20℃時]	BSL1850/BSL1825/BSL1450/BSL1425	約 35 分
	BSL1840/BSL1440/BSL1420	約 30 分
	BSL1830/BSL1430/BSL1415	約 22 分
充電電圧	14.4V - 18V	
充電電流	BSL1850/BSL1840/BSL1830 BSL1450/BSL1440/BSL1430	7.5A
	BSL1825/BSL1425/BSL1420/BSL1415	3.5A
コード	2心ビニールコード	
質量	0.7kg	
使用温度範囲	0℃~40℃	
冷却	対応(ファン付き)	
ブザー音	あり	

3. 蓄電池

形名	BSL 1430	BSL 1830	BSL 1440	BSL 1840	BSL 1450	BSL 1850
容量	3.0 Ah {3,000 mAh}		4.0 Ah {4,000 mAh}		5.0 Ah {5,000 mAh}	
冷却	対応					

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

このタッカは、下の表に示すステープルが使用できます。
ステープルは 150 本が 1 連に接着されています。

注 ステープルは弊社純正ステープルをご使用ください。

純正以外のステープルを使用するとステープルづまりすることがあり、故障の原因になります。

(寸法単位：mm)

形	状	ステープル	A	B	C	D
		BF 1206	12	0.5	0.7	6
		BF 1210				10
		BF 1213				13

はじめに

ご使用前の点検・準備

●ステープルの準備と安全点検

⚠警告

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 子供など作業者以外は近づけないでください。
- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。

用途に合ったステープルを準備してください。(P.12「別売部品」参照)
P.22「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。



●スイッチのロック機構について

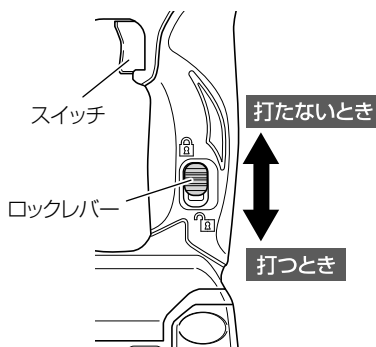
⚠警告

ステープルを打ち込むとき以外は、
スイッチをロックしてください。

この機体には、スイッチを引けなくする
ロック機構がついています。

ロックレバーを「」の位置にすると
スイッチがロックされます。

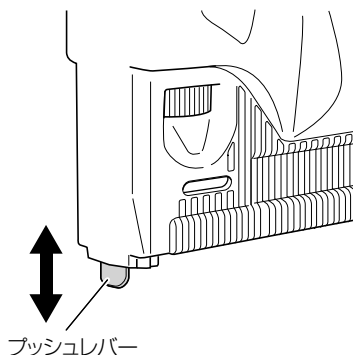
打つときはロックレバーをスライドして
「」の位置にし、打たないときは「」
の位置にしてください。



● プッシュレバーの動作確認

プッシュレバーがスムーズに摺動することを確認してください。

動作が悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。



⚠ 警告

プッシュレバーの動作を確認するときは、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。

ステーブルの取扱い方

注 ● ステーブルは、ていねいに扱ってください。

落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用するとステーブル送り不良により、空打ち、ステーブルづまりなどが発生することがあります。連結部が切れたステーブルは使用しないでください。

● ステーブルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。

さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。ステーブル梱包箱などに入れて保管してください。

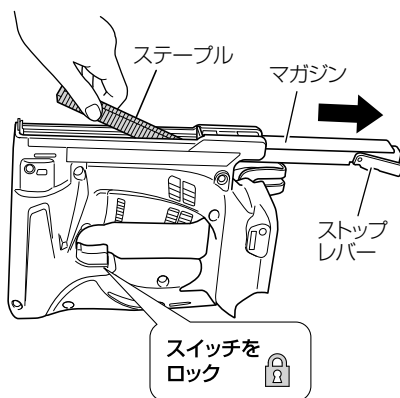
ステーブルの装てん方法

⚠ 警告

ステーブルを装てん・抜き取りの際は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 1 ストップレバーを押し、マガジンを後ろへ引き出します。
- 2 ステーブルの足を上にしてマガジンの中に入れます。
- 3 マガジンをもと通り押し込むと、ストップレバーでロックされます。

- 注**
- マガジンは静かに閉めてください。強く閉めると、ステーブルの連結が変形して、マガジンが閉まらないことがあります。
 - マガジンが閉まりにくいときは、マガジンの各溝部を点検してください。このときは P.22 「マガジンの点検」を参照してください。



ステーブルの打ち方（単発 / 連続）

ステーブルの打ち方には、先にプッシュレバーを打ち込み対象物に押し当ててからスイッチを引く「単発打ち」と、先にスイッチを引いてからプッシュレバーを押し当てる「連続打ち」の2つの操作方法があります。

単発打ちは、仕上げを重視する作業や狙った所にステーブルを打つ際に使用し、連続打ちは、スイッチを引いたまま連続的に作業したい場合に使用します。

この機体は、作業内容によって効果的な使い方ができるように単発 / 連続切替え機構を備えています。

安全装置について

この機体は、プッシュレバーとスイッチの両方が作動しないと、ステーブルが発射されない構造になっています。したがって、スイッチを引いただけのとき、または、プッシュレバー（射出口）を打ち込み対象物に押し当てただけでは、ステーブルは発射されません。これは、ステーブルを打つとき以外に誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバー（射出口）を押し当てただけで、ステーブルが発射されることを防ぐためです。

●単発打ち

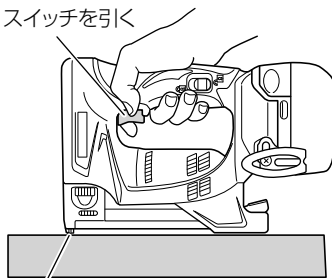
1 ステープルを打つ所に射出口を確実に押し当てます。

2 スイッチを引き、ステープルを打ち込みます。

3 機体を持ち上げて、スイッチをはなします。

注 ●狙った所にステープルを打つ場合は、単発打ちで作業してください。
●スイッチを引く動作を途中でやめると、次の打ち込み作業ができなくなることがあります。
このときは、一度蓄電池を抜いて、さし込み直すことで打ち込み作業ができるようになります。

2 スイッチを引く



1 先に射出口を押し当てる

●連続打ち

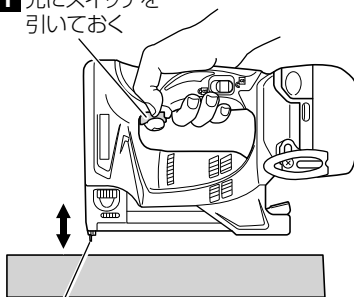
連続打ちは、はじめにスイッチを引いておき、その後、ステープルを打つ所にプッシュレバー（射出口）を「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。

1 先に、スイッチを引きます。

2 プッシュレバー（射出口）を、対象物に押し当て、ステープルを打ちます。

3 スイッチを引いたまま機体を持ち上げて、**2** からの手順を繰り返し、連続してステープルを打ちます。

1 先にスイッチを引いておく



2 射出口を押し当てる

空打ち防止機構について

このタッカはステープルがなくなったあとの空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。

ステープルが約 8 本以下になると、本体が動作しなくなります。

また、ステープルを 1 連打ち終わると約 8 本のステープルが残りますが、同じ形状のステープルを後ろから装てんすれば、続けてステープルを打つことができます。

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3

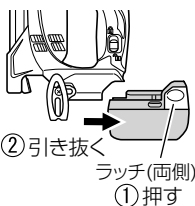
電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.18「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



●蓄電池をしっかり突き当たるまでさし込んでください。

●充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤 / 橙 / 緑のいずれかに連続

点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

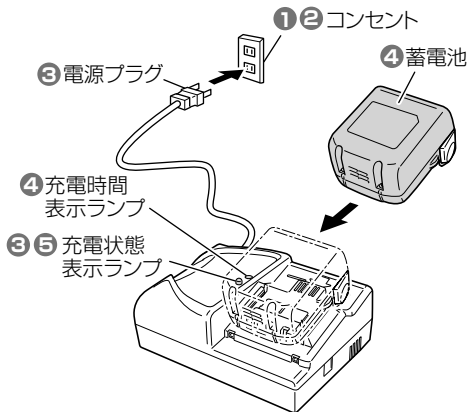
警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間








BSL1430/BSL1830 : 約 22 分
BSL1440/BSL1840 : 約 30 分
BSL1450/BSL1850 : 約 35 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。

各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30 分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20 分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5 分
	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 	充電器または蓄電池に異常があります。 (下記参照)

注 ● 橙の速い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 炎天下での使用や使用直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

ステープルを打つ

- 透湿防水シート止め作業
- 断熱材止め作業

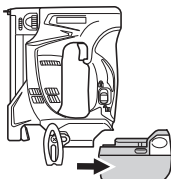
警告

- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、蓄電池をはずしてください。
- 作業終了後は、蓄電池をはずしてから、ステープルを全部抜き取ってください。

注 低温時に使用すると、機体の動作が悪くなる場合があります。

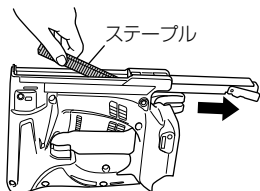
1 スイッチをロックし、蓄電池を取りはずす

動作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



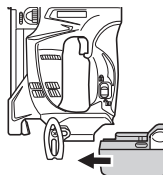
2 ステープルを装てんする

用途に合った寸法のステープルをマガジンに装てんしてください。
(P.15「ステープルの装てん方法」参照)



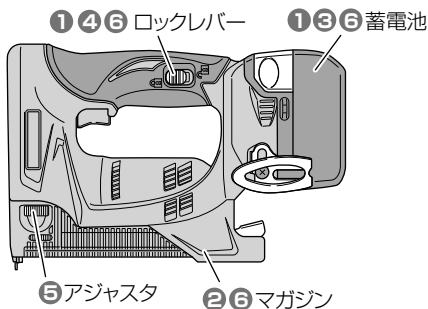
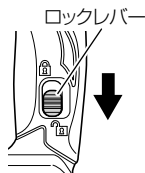
3 蓄電池を取付ける

右図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



4 ロックレバーのロックを解除する

ロックレバーをスライドして、ロックを解除してください。
(P.13「スイッチのロック機構について」参照)



警告

- スイッチを引くときは、他の指でプッシュレバーなどを固定しないでください。誤ってステーブルが発射した場合、けがの原因になります。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後はスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。

注 材料の硬さ・厚さ・組合わせによってはステーブルが曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちして確認の上、ご使用ください。

5 ステーブルを打つ

アジャスタで、ステーブルの打ち込み深さを調整します。

(P.20「打ち込み深さの調整」参照)



6 作業を終了する

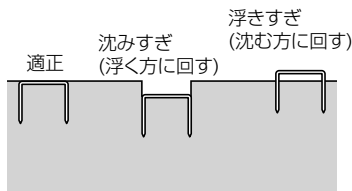
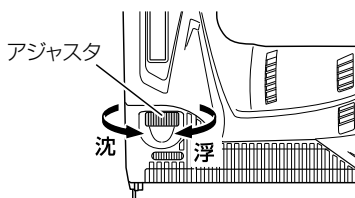
作業後は、スイッチをロックし、蓄電池を本体から抜いてから、ステーブルをマガジンから全部抜き取ってください。

打ち込み深さの調整方法

警告

アジャスタを調整するときは、射出口を下に向け、顔や手・足などの人体がないことをご確認のうえ、スイッチもロックしてください。

試し打ちし、ステーブルが沈みすぎるときはアジャスタを浮く方に回します。ステーブルの頭が浮くときは、アジャスタを沈む方に回します。アジャスタは、回転させることで最大約2 mm 移動します。



フックの使い方

フックは、作業の合間に腰のベルトなどに吊下げる機能を持っています。
フックの取付け向きを替えるときは、次の手順で付け替えてください。

⚠ 警告

- フックを使用するときは、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。

工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例

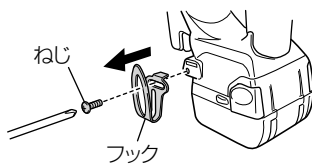


⚠ 注意

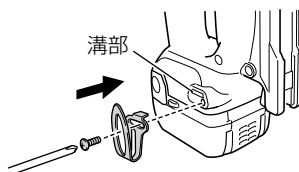
フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



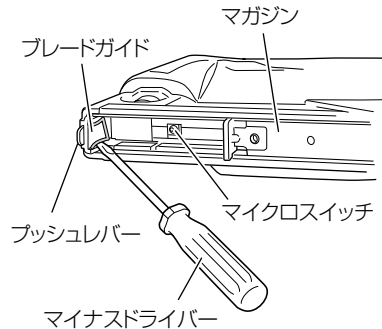
保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具体体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ステープルづまりの直し方

- ① 蓄電池を本体から抜き取ってください。
- ② ストップレバーを押し、マガジンを引き出し、マガジンに入っているステープルを全部抜きます。
- ③ ブレードガイドの溝につまったステープル、接着剤、破片、木くずなどをマイナスドライバーなどで取除きます。
- ④ プッシュレバーがスムーズに動作することを確認してください。



注 ステープルづまりを直した後は、ステープルを装てんし、試し打ちしてから使用してください。

●マガジンの点検

マガジン内をときどき掃除してください。マガジンを引き出して、中にたまったステープルの接着剤、ごみ、木くずなどを取除いてください。

注 マガジン内が汚れると、ステープルを送るフィーダの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。

●取付ねじの点検

工具体体のねじがゆるんでいないか、点検してください。ゆるんでいたら、締直してください。

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

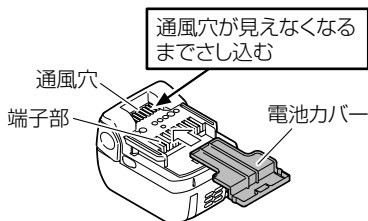
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3ヶ月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合せください。

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
充 電 器	充電ランプが 点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P.17
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P.17
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P.18
	橙の速い点滅を繰り返し、ブザーが「ピッピッ」と約2秒鳴る	蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。	P.18
		蓄電池または充電器の異常	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にお問い合せください。	P.18
本 体	ステーブルが 打てない	蓄電池の残量がない	充電器で蓄電池を充電してください	P.17
		蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。蓄電池は「カチッ!」と音がするまで確実にさし込んでください。	P.19
		単発打ち作業中、スイッチを引く動作を途中でやめた	一度、蓄電池を工具本体から抜いて、さし込み直してください。	P.16
		本体の異常	お買い求めの販売店にお問い合せください。	—

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
本 体	釘が浮く	材料が硬い	材料の硬さによっては、打てない場合があります。	P.20
		本体が反動している	ステープルを打つ所に射出口をしっかりと押し当ててください。	P.20
		ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	—
	空打ちする	空打ち防止機構が作動しない	マガジン内部のマイクロスイッチ部周辺のごみや異物を取除いてください。	P.22
		つまったステープルが射出口付近に残っている	つまったステープルやごみなどを取除いてください。	P.22
		ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。	—
		フィーダの動きが悪い	マガジン内部にたまったごみや異物を取除いてください。	P.22

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>